

全国に広がる弊社営業ネットワークを活かして、日本各地の商品をご紹介します！

ご当地商品情報



機能性・デザイン性を兼ね備えた
跳ね上げ式ネックハンガーで商品をPR!



青森県上北郡おいらせ町に本社を構える、明治22年創業の酒造会社桃川様。日本酒の製造はもちろん、青森県の特産品りんごを使ったリキュールの製造も行っています。

今回ご紹介するのは、桃川様が作る青森県産りんごのリキュール「雪りんご」です。フジ・ジョナゴールド・王林・つがる、4種類のりんご果汁をにぎり酒とブレンドした、程よい甘みと酸味が利いたお酒です。

弊社ではこの商品のポップ制作を担当。「跳ね上げ式ネックハンガー」と呼ばれる形状で、機能性だけでなくデザイン性にも優れたポップです。機能性のポイントは、セットが簡単なこと。折ってかぶせるだけの、簡単な動作でセットでき、作業効率がアップします。デザイン性のポイントは、ポップ面が瓶の上方向くことで、商品の陳列時にもしっかりと目立たせることができ、ラベルのデザインを隠すこともありません。このほか、本商品のポップでは横から見たときに、瓶とポップの青色が同化し、青森県のシルエットが見えるというデザインの工夫が凝らされています。

弊社では、お客様の要望に合わせたさまざまな資材の企画をご提案いたします。お気軽に担当営業までお声がけください。



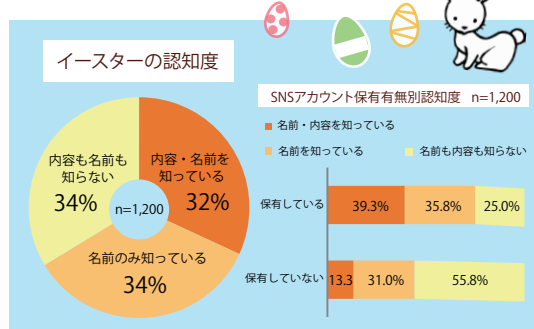
様々な事象から流行のグッズまで、時代の動向をデータから読み解く!

ここ数年で賑わいを見せるハロウィン。2017年も町中やテーマパークで仮装し、SNSに写真を投稿する人々が続出しました。Instagramで「#ハロウィン2016」を検索すると8,961件、「#ハロウィン2017」には9,933件の写真が投稿されていることが分かり、約1,000件増加。テレビ番組でも毎年仮装した人々の様子が報道され、ハロウィン文化はどの世代にも認知されてきています。

では、次に日本で流行するイベントは何でしょうか。推測されているのが、キリスト教圏ではハロウィンやクリスマスよりも大事な「イースター」です。イースターとは、キリストが復活したことを祝う復活祭。日には「春分の日の後、最初の満月の次の日曜日」とされ、2018年は西方教会で4月1日、東方教会で4月8日です。

2017年4月にマーケティング・リサーチ会社のクロス・マーケティングが実施した調査によると、現在イースターの認知度は66%。2014年からテーマパークでイースターイベントが開催され、特にSNS世代を中心にイベントとして定着してきています。ハロウィンでカボ

チャがシンボルであるように、イースターではキリストの復活を意味する卵と、豊穡や繁栄を意味するウサギがシンボルとして使われます。イースターならではのゲーム「エッグハント」は、卵に絵を描いたオリジナルのイースターエッグを作り、庭や公園に隠して皆で探します。お菓子の包装やパッケージを様々なイースターエッグ柄にし、子ども達が遊べる仕掛けやイベントを企画するなど、イースターに向けた商品やSNSを活用した販促促進をしてみませんか？



市場トレンド情報



ハロウィンの次に流行するイベントとは？
今のうちに対策を練りましょう！

「高桑販促アイディア通信」をWebでご覧いただけます！
<http://idea-takakuwa.wave.jp/>

過去の記事が読める！ 地域の情報が知れる！ 年間販促情報が分かる！

アイディア通信の更新をメルマガでお知らせしています。購読のご希望やその他のお問い合わせは弊社担当営業または下記連絡先までお気軽にどうぞ！

高桑美術印刷株式会社営業統括部 TEL (076)277-8660 / FAX (076)277-3466